マックス 電動タッカ

TG-EL

取扱説明書

⚠ 警 告

●使用前に必ず取扱説明書を読む。
●使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用する。
●使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
●移動する時、使用しない時、調整・修理・ステープル装填の時は必ずトリガをロックし、メインスイッチをOFFにし、プラグを電源から抜く。
●射出口を絶対に人体に向けない。
●雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。
●揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
●異常を感じたら絶対に使用しない。

●この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
●本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックス電動タッカをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本機の取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

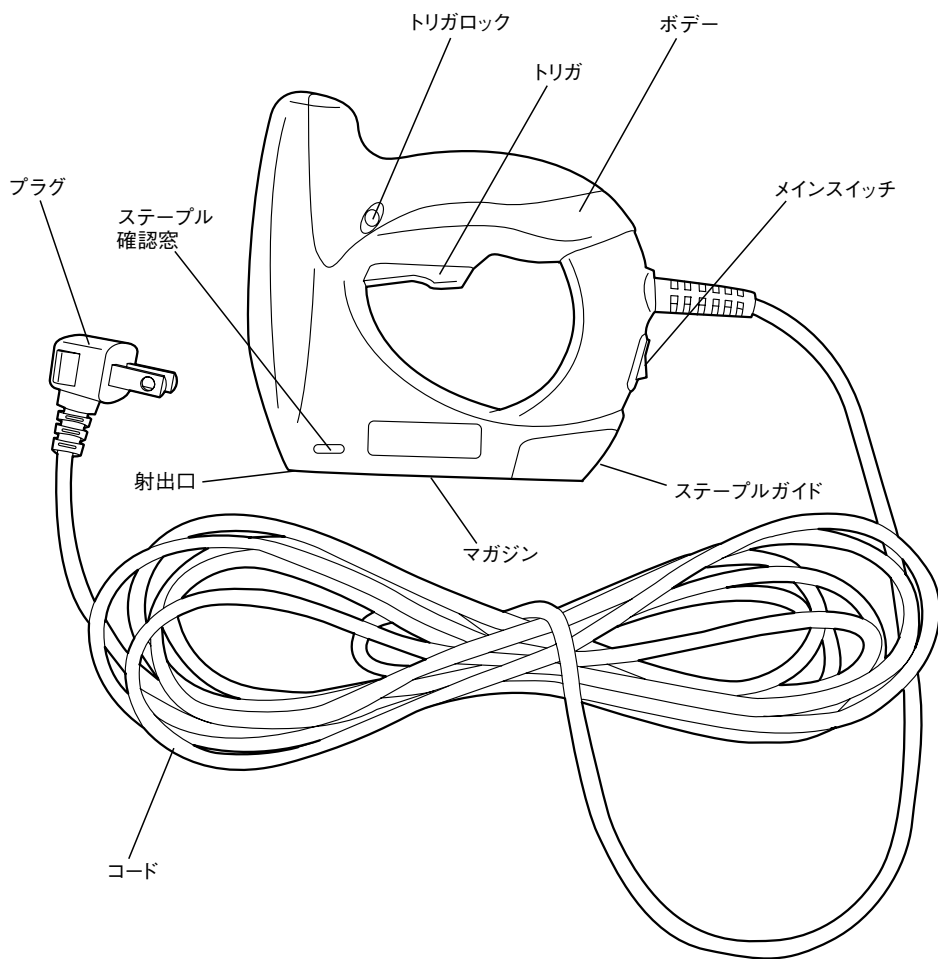
■表示について

⚠ 警告	この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。また、取扱いを誤った場合には、釘打機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

■絵表示について

この記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近くの表示は具体的な禁止内容です。

目　次

1 各部の名称

安全作業のために

本機は、指定されたステープルを防湿シート、布、薄ベニヤ等を木材またはそれに類した材料に止めることを目的とした電動工具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

⚠ 警 告

1. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
     （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
2. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
3. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、着用しないでください。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
4. コードを乱暴に扱わないでください。
   - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
   - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
   - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
6. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
   - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店又はマックスサービス㈱に修理を依頼してください。
   - 延長コードは使用しないでください。電圧が低下し、打ち込めない場合があります。
   - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。

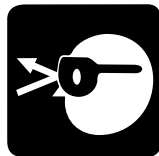
安全作業のために

作業前

⚠ 警 告

❶使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

ステープル打ち作業時、打ち損じのステープルがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。

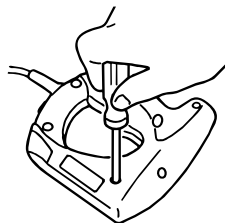
❶

❷防音保護具を着用する。

ステープル打ち作業をする時、打込音から耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

❷

❸本機を点検する。

使用前にはネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか、各部部品がはずれていたり、傷んでいないか、必ず点検してください。不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。

❸

❹安全装置を確認する。

使用前には、必ず安全装置がその機能を適正に働かせているか確認してください。

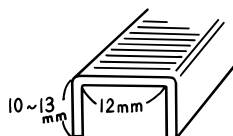
（安全装置の説明9ページ参照）

❹

安全作業のために

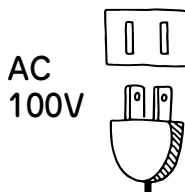
⚠ 警 告

❺指定ステープルを必ず使用する。

指定されたステープル（取扱説明書11ページ参照）と異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のステープルをご使用ください。

❻作業場所を常に整理する。

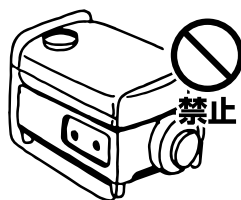
作業場所が乱雑だと、つまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所の整理、整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

❼使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用する。

表示を超える電圧で使用すると、本機が異常発熱し故障の原因となります。

❽エンジン発電機や直流電源では絶対に使用しない。

故障の原因や焼損の原因になりますので絶対に使用しないでください。

作業中

⚠ 警 告

❶打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。

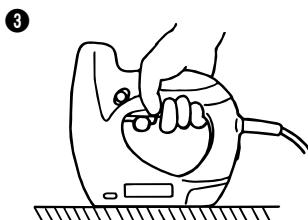
安全作業のために

⚠警告

❷射出口を絶対に人体に向けない。

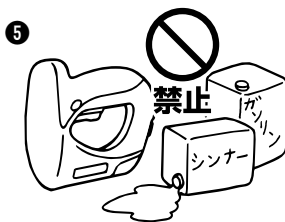
射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたステープルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。

❷
❸射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったステープルや木の節などに当たった場合、ステープルがはねたり、それたりして大変危険です。また、機体が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

❸
❹適切な作業スピードで作業を行う。

速すぎる連続打ちは本機が異常発熱し、故障の原因となりますので、毎秒1本程度の速さまでで作業してください。

❺揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

ガソリン、シンナー、ガス、塗料、接着剤など揮発性可燃物のそばでは引火または、爆発の恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

❺
❻移動する際は、必ずトリガをロックし、メインスイッチをOFFにする。

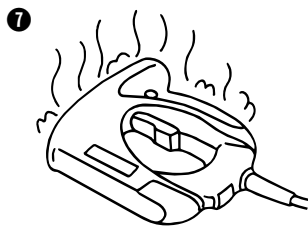
トリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際は、必ずトリガをロックし、メインスイッチをOFFにしてください。

❻

安全作業のために

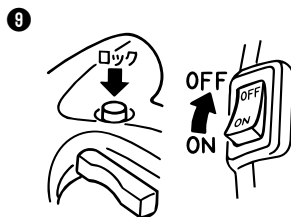
⚠ 警告

❼連続作業後は必ず本機を休ませる。

連続して使用した場合は、発熱により温度が上昇します。そのまま使うと事故の原因になる事がありますので、本体が熱くなったらしばらく休ませ熱が下がってからお使いください。

❼
❽異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたらただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

❽
❾ステープルの装填時、作業中断時は必ずトリガをロックし、メインスイッチをOFFにする。

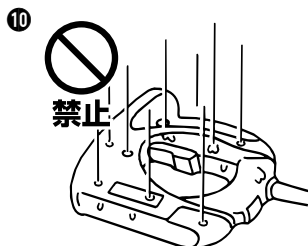
ステープルの装填時、作業をしない時、誤ってステープルを発射すると危険ですから、必ずトリガをロックし、メインスイッチをOFFにしてください。

❾
❿雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。

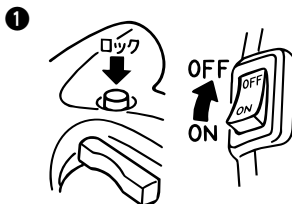
雨の中、水のかかる場所、濡れた場所、湿った場所では絶対に使用しないでください。感電事故の元となります。また、本機を雨の中に放置しないでください。

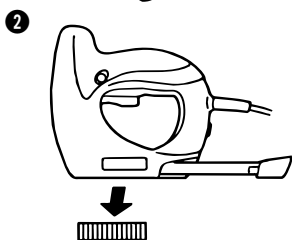
❿

安全作業のために

作業後

⚠ 警告

❶作業終了時には必ずトリガをロックし、メインスイッチをOFFにする。

作業終了時には、必ずトリガをロックし、メインスイッチをOFFにしてください。

❷作業終了時には必ずステープルを抜き取る。

ステープルをマガジン内に残しておくと次に使用するときうっかり手をふれたり、誤って作動させた場合思わぬ事故につながることがあります。作業終了時には必ずマガジン内のステープルを抜き取ってください。

❸本機を保管する。

作業終了後、または使わない時は、気温が50℃以上にならない乾燥した風通しの良い所に保管してください。また、保管場所は子供の手の届かない高い所や鍵のかかった所にしてください。

❹本機を大切に手入れする。

より安全に性能を発揮させるため、本機は摩耗、損傷のない最良の状態に保ってください。本機はいつも清潔にし、ほこりや塵を取りはらってください。特にグリップ部は、油やグリースがつかないようにしてください。

❺本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

安全作業のために

屋外作業について

⚠ 警告

❶足場の安全性を充分に確保する。

足場を使っての高所作業の場合、作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

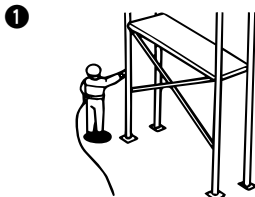
❷直射日光をさける。

本機を直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。

❷

❸雨の中、水のかかる場所では絶対に使用しない。

雨の中、水のかかる場所、濡れた場所、湿った場所では絶対に使用しないでください。感電事故の元となります。また、本機を雨の中に放置しないでください。

❸

打ち方

●水平面のステープル打ち

前進姿勢で作業を行ってください。安全で疲労も少なく、正確に作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。

〔水平面〕

●垂直面のステープル打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へステープル打ちを行なってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしない。

〔垂直面〕

●傾斜面のステープル打ち

下から上に向かって前進姿勢でステープル打ち作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

〔傾斜面〕

3 安全装置について

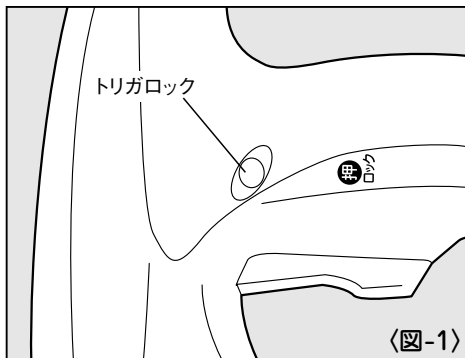
⚠ 警 告

●安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

ステープル打ち作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

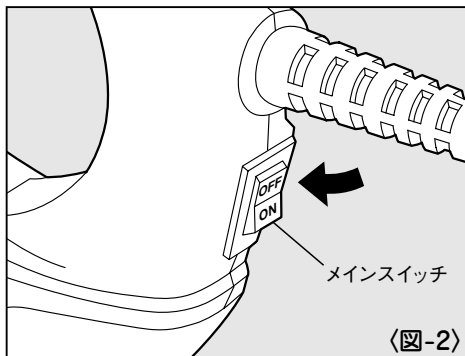
❶トリガロック装置

本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しない時に本機の使用者の意志によってトリガを作動できないようにすることができる装置です。 〈図-1〉

〈図-1〉

ステープルを打っている時以外は、トリガをロックし、メインスイッチをOFFにし、プラグを電源から抜いてください。作業を始める場合はトリガロックを反対側から押し解除してください。

❷メインスイッチ

本機には元電源をON、OFFできるメインスイッチを装備しております。使わぬ時、修理、ステープル装填時には必ずメインスイッチをOFFにし、プラグを電源から抜いてください。より安全な作業ができます。 〈図-2〉

〈図-2〉

❸サーマルプロテクタ

本機には、連続使用により内部温度が異常高温になった時に電源を遮断するサーマルプロテクタを装備しています。毎秒1本程度の速さまでで作業してください。

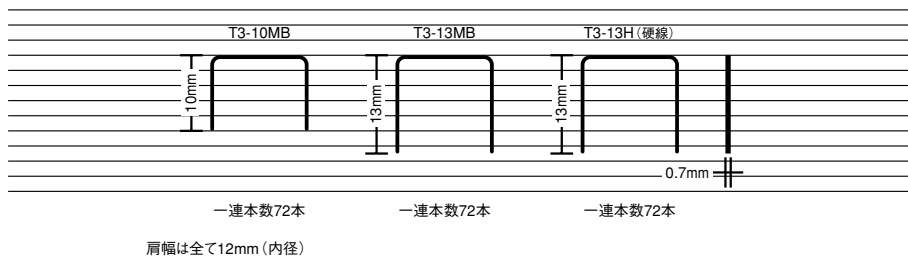
⚠ 警 告

- **トリガを引いたままメインスイッチを<u>ONにしない。</u>**
- **トラブル発生時には、まず最初にメインスイッチを<u>OFFにする。</u>**

仕様

商　品　名	マックス電動タッカ
商品記号	TG-EL
寸　法	（H）160 ×（W）50 ×（L）170 mm
質　量	960g
電　源	AC100V　50/60Hz　120W/100W
ステープル装填数	72本（1連）
電源コード	2芯　5m
付　属　品	フック

使用ステープル

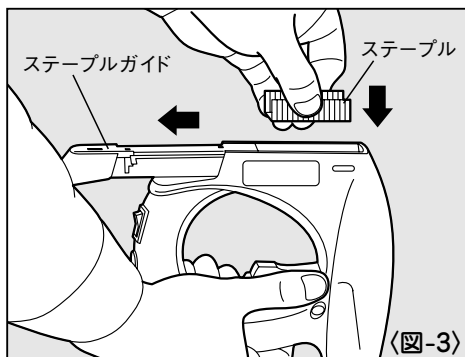
使用ステープル実寸図

6 使用方法

1 ステープルの装填の仕方

⚠ 警 告

●ステープル装填の時は、必ず本機のトリガをロックし、メインスイッチをOFFにし、プラグを電源から抜く。

❶ステープルガイドをつまみます。
❷ステープルガイドを引き出し、ステープルを装填します。
❸ステープルガイドを元に戻します。
ステープルガイドを突き当たるまで奥に押し込みます。 **〈図-3〉**

〈図-3〉

2 打ち方

⚠警告

●射出口をしっかりと対象物に押し付けて打ち込みを行なう。
打ち込む瞬間に機械を持ち上げないようにしてください。ステープルが浮くことがあります。

●メインスイッチをONにする時は、必ずトリガから指をはなした状態で行なう。

❶プラグを電源に接続する。

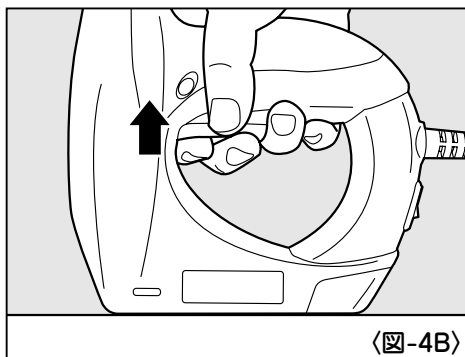
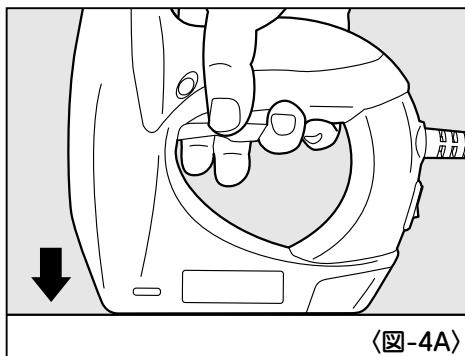
❷メインスイッチをONにする。

❸トリガロックを反対側から押し、解除する。

❹ステープルを打とうとする場所に、射出口を押し当ててからトリガを引きます。

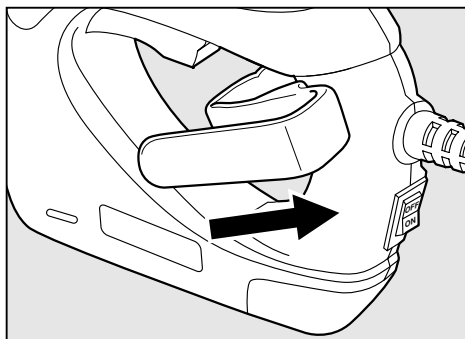
〈図-4A〉〈図-4B〉

〈図-4A〉

〈図-4B〉

フックの取り付け方

⚠警告

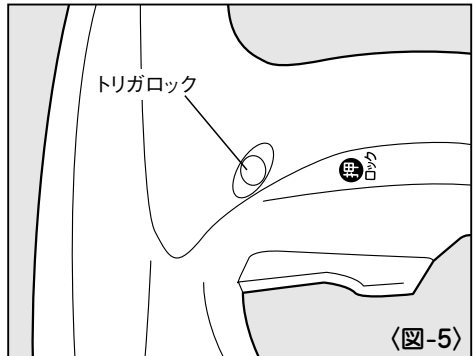
●フック使用の時は、必ず電源スイッチをOFFにする。

電源スイッチ裏面から図のようにフックを挟み込みます。左右どちら側にも取り付けることができます。必要に応じてお使いください。

7 ステープルづまりの直し方

⚠ 警 告

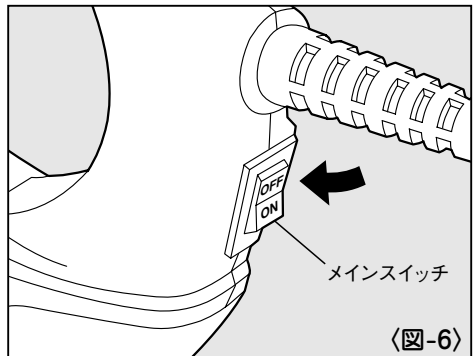
- ●保護メガネは着用したままで行なう。
- ●ステープルづまりを指で除去しない。必ず「ニッパ」等で行なう。
- ●必ずトリガをロックし、メインスイッチをOFFにし、プラグを電源から抜いてから行なう。
- ●ステープルの射出口を下向きにして行なう。
- ●周囲に人がいない事を確認して行なう。

❶トリガをロックしてください。〈図-5〉

〈図-5〉

❷メインスイッチをOFFにしてください。〈図-6〉

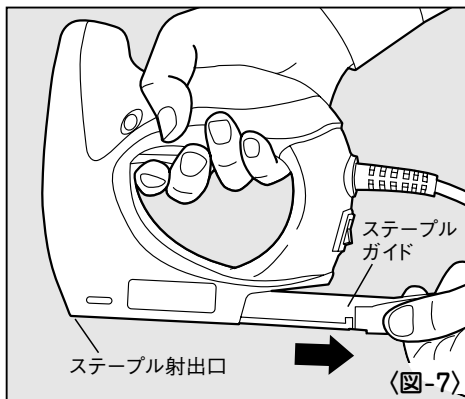
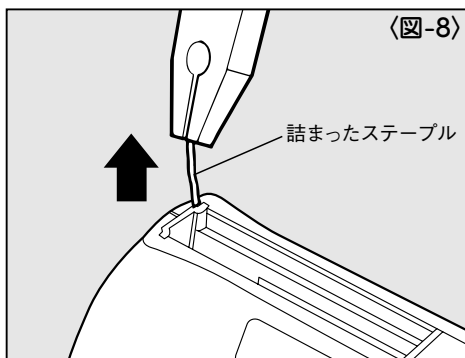
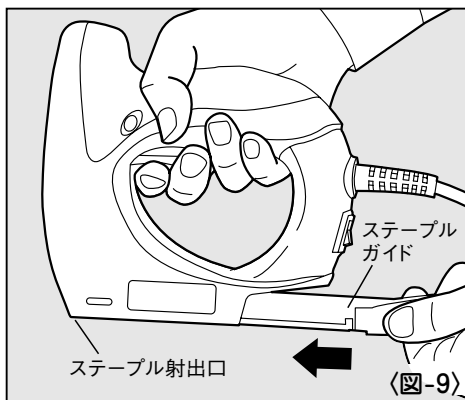
❸プラグを電源から抜いてください。

❹周囲に人がいないことを確認してください。

〈図-6〉

❺ステープル射出口を下向きにして、ステープルガイドをつまみ、ステープルガイドを最後まで引き出してください。

〈図-7〉

⚠ 警 告

●マガジンに残っているステープルが落下したり、飛びだすことがあるので注意する。

❻「ニッパ」等でつまったステープルを除去してください。 〈図-8〉

❼ステープルガイドを押し入れてください。 〈図-9〉

性能を維持するために

❶本機の改造・加工を絶対に行わない。

本機を改造すると本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

❷定期的に点検をする。

本機の性能を維持する為に清掃、点検を定期的に行ってください。

❸注油をしない。

本機には注油を絶対にしないでください。故障の原因となります。

9 アフターサービス、補修用性能部品について

【アフターサービスについて】

●本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にご相談ください。

【補修用性能部品の最低保有期間】

●本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

●補修用性能部品とは、本機の性能を維持するために必要な部品です。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。

事業所	郵便番号	住所	電話番号
本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町６－６	TEL（03）3669-8121㈹
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東６－１２－８	TEL（011）261-7141㈹
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東２－１－２９	TEL（022）236-4121㈹
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町６－６	TEL（03）3669-8118㈹
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川１－１１－２３	TEL（052）935-8531㈹
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川１－３－１８	TEL（06）6444-2031㈹
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音７－１１－２４	TEL（082）291-6331㈹
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL（092）411-5416㈹
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭２－10－３	TEL（019）621-3541㈹
宇都宮営業所	〒321-0933	宇都宮市簗瀬町２３１３	TEL（028）636-3012㈹
柏営業所	〒277-0871	柏市若柴297－12	TEL（04）7132-1500㈹
多摩営業所	〒190-0022	立川市錦町５－17－19	TEL（042）528-3051㈹
浜松営業所	〒433-8117	浜松市高丘東２－22－15	TEL（053）439-3300㈹
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町３－24	TEL（099）269-5347㈹
新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館２－14－28	TEL（0256）34-2112㈹
水戸マックス㈱	〒310-0043	水戸市松ヶ丘２－３－27	TEL（029）255-3761㈹
群馬マックス㈱	〒371-0844	前橋市古市町２３３－５	TEL（027）210-7755㈹
埼玉マックス㈱	〒331-0823	さいたま市北区日進町３－４２１	TEL（048）651-5341㈹
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日１８７０－１	TEL（043）422-7400㈹
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘７－６	TEL（045）364-5661㈹
長野マックス㈱	〒399-0033	松本市笹賀８１５５	TEL（0263）26-4377㈹
長野営業所	〒381-2247	長野市青木島１－35－１	TEL（026）285-6740㈹
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市敷地１－３－26	TEL（054）237-6116㈹
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸２－15	TEL（076）240-1871㈹
富山営業所	〒930-0827	富山市上飯野字樋向割１０－８	TEL（076）452-0182㈹
福井営業所	〒918-8237	福井市和田東２－１７１１	TEL（0776）27-3378㈹
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町９	TEL（075）645-5061㈹
兵庫マックス㈱	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町2-1-2	TEL（078）652-7370㈹
三木営業所	〒673-0404	三木市大村１０９－１	TEL（0794）83-2121㈹
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田３－23－28	TEL（086）246-9516㈹
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町７６１－３	TEL（087）866-5599㈹
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広１－４－25	TEL（088）623-0286㈹
松山営業所	〒790-0951	松山市天山２－１－35	TEL（089）913-0608㈹
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東６－１２－８	TEL（011）231-6487㈹
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東２－１－２９	TEL（022）237-0778㈹
マックスサービス㈱高崎	〒370-0031	高崎市上大類町４１２	TEL（027）350-7820㈹
マックスサービス㈱埼玉	〒331-0823	さいたま市北区日進町３－４２１	TEL（048）667-6448㈹
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川１－１１－２３	TEL（052）935-8210㈹
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川１－３－１８	TEL（06）6446-0815㈹
マックスサービス㈱広島	〒733-0035	広島市西区南観音７－１１－２４	TEL（082）291-5670㈹
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田１－５－１	TEL（092）451-6430㈹

●マックスお客様ご相談ダイヤル（無料）　0120-228-358

月～金曜日 午前9時～午後6時

『ナンバーディスプレイ』を利用しています。

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

050119-00/02